

石川県内の自転車指導啓発重点地区・路線一覧

1 選定総数

	選定数	総延長距離(m)
地区	14	—
路線	20	34,220

2 選定状況

令和7年10月1日現在

署 No	地区 路線	地区又は 路線の名称	路線区間	延長距離 (m) <概数>	選定理由
金沢中 - 1	路線	金沢市道	長町1丁目交差点 ～ 香林坊交差点	600	自転車通勤者、高校生の自転車通学生が多い。
金沢中 - 2	路線	主要地方道 金沢小松線	もりの里三丁目交差点 ～ もりの里一丁目南交差点	1,150	自転車通勤者、大学生の自転車通学生が多い。
金沢中 - 3	路線	国道157号	野町広小路交差点 ～ 有松交差点	1,550	自転車通勤者、高校生の自転車通学生が多い。 信号交差点が多く、事業所等への出入り車両も 多いことから交通事故の発生が危惧される。
金沢中 - 4	路線	県道金沢停車場南線 国道157号	増泉三丁目交差点 ～ 横川南交差点	2,000	自転車通勤者、高校生の自転車通学生が多い。 信号交差点が多く、事業所等への出入り車両も 多いことから交通事故の発生が危惧される。
金沢中 - 5	地区	有松・久安地区	—	—	高校生、大学生の自転車通学生が多く、自転車 専用通行帯が整備された地区である。
金沢東 - 1	路線	県道東金沢停車場線	IR東金沢駅 ～ 小坂町交差点	670	自転車の通行量が多く、普通自転車専用通行帯 が整備されている。
金沢東 - 2	地区	玉川・芳斉・ 長土堀・長町地区	—	—	小学校の移転、こども図書館等が新設される地区 であり、歩行者等の交通量が見込まれる上、高校 生の自転車通学生が多い。
金沢東 - 3	地区	金沢駅周辺	—	—	通勤・通学で金沢駅を利用する自転車の通行量 が多い。交通事故の発生も多く、自転車の交通マ ナー改善の意見等も多数寄せられている。
金沢西 - 1	路線	主要地方道 金沢港線	中央市場前交差点 ～ 西警察署前交差点	3,800	自転車通勤者や沿線の高校への自転車通学生が 多い。さらに、幹線道路で事業所等への出入り 車両が多く、交通事故の発生が危惧される。
金沢西 - 2	路線	主要地方道 金沢・田鶴浜線	駅西本町一丁目交差点 ～ 県庁北口交差点	2,000	JR金沢駅から石川県庁等の駅西地区への自転 車通勤者及び付近高校への自転車通学生及び歩 行者が多く、交通事故の発生が危惧される。
金沢西 - 3	路線	金沢市道 (2級幹線359号西部中 央通り線)	県庁北口交差点 ～ 県立金沢西高校前	700	駅西地区への自転車通勤者や付近高校への自転 車通学生や歩行者が多く、交通事故の発生が危 惧される。
大聖寺 - 1	路線	県道大聖寺停車場線	大聖寺駅前 ～ 大聖寺南町交差点	240	自転車利用者が集中する。

大聖寺 - 2	路線	加賀市道 (A3号線)	大聖寺駅前交差点 ～ 大聖寺東町交差点	760	高校生の自転車通学生が多い。車道に自転車走行指導帯を表示し啓発路線としている。
大聖寺 - 3	路線	国道305号	菅生交差点 ～ 大聖寺南町交差点	800	高校生の自転車通学生が多い。
大聖寺 - 4	路線	主要地方道 小松山中線	山代東口交差点 ～ 山代中学校	1,200	歩道、路側帯が狭い上、付近中学校等の自転車通学生が多い。
小松 - 1	地区	小松駅周辺	—	—	自転車の交通量が多く、自転車が関連する事故が多い。
小松 - 2	路線	国道360号	城南町西交差点 ～ 軽海西交差点	6,500	自転車の交通量が多く、自転車が関連する事故が多い。
小松 - 3	地区	栗津駅周辺	—	—	自転車の交通量が多く、自転車が関連する事故が多い。
能美 - 1	路線	県道寺井停車場線	IR能美根上駅前 ～ 大成東交差点	650	駅に通じる路線であり、中・高校生の利用が多いほか、駅を利用する会社員等が多く利用する路線である。
能美 - 2	地区	寺井町地区	—	—	中・高校生の通学及び会社員の通勤、スーパーマーケットなどの買い物客などによる自転車の利用者が多いことから選定
白山 - 1	路線	野々市市道 (堀内上林線)	堀内北交差点 ～ 下林西交差点	1,200	市民体育館や高校があり自転車の通行が多いが、自動車通行量も多く自転車との交通事故の発生が懸念され、高校生に対するルール・マナーの指導啓発を実施する必要がある。
白山 - 2	地区	白山市月橋町地区	—	—	病院、体育館や高校があり自転車の通行が多いが、自動車通行量も多く自転車との交通事故の発生が懸念され、高校生に対するルール・マナーの指導啓発を実施する必要がある。
白山 - 3	地区	松任市街地	—	—	市街地で中学・高等学校、市役所等の公共施設、鉄道駅、商業施設が集中し、時間帯問わず多数の自転車利用者があり、かつ事故も多い。
津幡 - 1	路線	県道中尾津幡線 県道川尻津幡線	浅田交差点 ～ 井上の荘交差点	2,300	付近中学、高校の自転車通学生が多数往来し、交通事故発生の危険性、住民からの自転車交通マナー改善の意見等が寄せられている。
津幡 - 2	地区	かほく市 宇野気地区	—	—	駅や中学校があり、通勤・通学のための自転車利用者が多く、路線別での指定は複雑であるため地区として選定。
津幡 - 3	地区	内灘町南部地区	—	—	駅からの自転車通学生が多く、また交通事故の発生が多いことから、内灘駅を中心とした半径1kmの地区を選定。
羽咋 - 1	路線	県道若部・千里浜インター線 市道羽咋286号線	中央町南交差点 ～ 太田町東交差点	3,200	自転車対歩行者の交通事故をはじめとした自転車関連事故が発生しているほか、自転車の通行量、自転車通行空間の整備状況、自治体等の自主的な活動状況等を踏まえ選定。
七尾 - 1	路線	県道城山線	藤野北交差点 ～ 城山交差点	1,200	藤野北交差点から城山方向へ向かう県道城山線が開通し、自転車を利用する小・中学・高校生の通学路や交通流が変化したため。

七尾-2	地区	七尾駅周辺	—	—	七尾駅周辺は大型商業施設、高校等が所在し、自転車の通行量が多く、駅周辺1kmを重点地区として設定する。
輪島-1	路線	輪島市道	門前町清水3-11-1 ～ 門前町道下わ部1	1,300	中学校の通学路(自転車通学生約40名)である。
輪島-2	地区	輪島市河井町周辺	—	—	震災により、輪島市内の6小学校が河井小学校仮設校舎を利用しており、また、周辺に高校や市役所が所在し、歩行者や自転車利用者が最も多い場所のため。
輪島-3	地区	穴水町字大町周辺	—	—	同地区は穴水小学校及び中学校があり、また周辺に穴水駅が所在し、交通量が多く、重大事故の発生が懸念される
珠洲-1	地区	能登町宇出津	—	—	小・中・高校、病院等があり、歩行者等の交通量が管内で一番多い。
珠洲-2	路線	国道249号 主要地方道蛸島港線 珠洲市道	野々江総合公園口交差点 ～すずなり西口交差点 ～緑丘中学校前交差点	2,400	高校、中学校の通学路であり、かつ商店や病院等の施設が多数ある路線であることから自転車の通行が多く、さらに当署管内で自転車の違反数が顕著であるため。